
◎自主規制の指針の基本的な考え方

○このドキュメントについて

このドキュメントは、創作物一般についての自主規制に関する指針を書いたものである。

なお、この指針は個人が勝手に作ったもので、不完全だったり、思慮不足な箇所など、いくつもの不備があると考えられる。

これは、あくまでも議論の土台として作成したものであり、是非議論していただくことを望む。

○定義

「電子媒体」とは

フロッピーディスク・CD・DVD・BD・USB・ハードディスクなどである。

「実写」とは

被写体が実際に存在し、直接、カメラ等を使って撮影された静止画・動画である

「創作物」とは

被写体が実際に存在しない、あるいは対象をリアルタイムに直接カメラ等を使って記録しない（※）で、紙・電子媒体・ネットワーク上などに記録した静止画・動画・音声である。

※ただし、バッファリングで一時的にメモリに保存したものは、実写として扱われる。

「図書類」とは

図書類とは、文字・画像・音声といった、視覚・聴覚を使って表現された、実写・創作物である。

例)

雑誌・書籍（小説・マンガ等）

電子媒体（音楽・ドラマ・アクションエンターテインメント・ゲーム・アニメ・CDドラマ等）

テレビや映画（ドラマ・アクションエンターテインメント・アニメ等）

○はじめに

私たちは、文明や文化の発展、政治的な発言、娯楽などの目的に、さまざまな文章・音楽・画像を創り出してきた。

これからも、我々は自由な創作活動を通じて、さらなる発展を遂げることができる。

しかし、歴史的に私たちはさまざまな規制・検閲を通じ、そのたびに文化が衰退していった歴史がある。

このような歴史を我々は繰り返してはならない。

全世界の人間は、以下の権利を保有する。

- ・創作活動を行う権利
- ・創作されたものを流通する権利
- ・創作されたものを知る権利

全世界の人間は、現実に関与し被害者が発生しない限り、国、および地方団体を含めて、法律・条例などで、これらの権利を侵害してはならない。

親の立場となったとき、創作されたものについて、年齢に応じた書籍・映像等のメディアは何かを私たちは知りたいと思う。

価値観は、時代・国・文化・学術・宗教圏などによって異なる。

そこで、現代の日本の文化と、子どもの成長を鑑み、時代にあった推奨年齢を定める。

さらに、「性的なトラウマ」「暴力表現への耐性」などから、見たくないものが存在するものも事実である。

そこで、現代における自主規制の目安をここに作り、保護者が子どもの成長、および、自分が読みたくないものを読み

ないためのできる限りの配慮ができるよう、指針を作成する。

○自主規制の変更について

自主規制の基準については、時代の変遷と共に規定が変わっていく。ただし、出版に関する専門家が１年以上かつ１０回以上の慎重な議論なしにこれを変えてはならない。議論は公開で行わなければならない。

※検討中（役員・専門家の公開された議論を通じ、時代にあったものを、慎重に検討することを求める）

○日本国憲法、および、子どもの権利条約の尊重

我々は、日本国憲法第２１条における表現の自由を尊重し、実際に人の心身に対して多大な害悪が生じない限り、これを規制してはならない。

我々は、子どもの権利条約を尊重し、子どもの身体的・精神的な成長に見合った図書類を提供しなければならない。

我々は、子どもの権利条約を尊重し、子どもの意見を無視して、子どもに提供する図書類を規制してはならない。（意見表明権の遵守）

○行政による図書類の規制について

あらゆる表現は「緊急避難的措置」以外、法律・条例で規制してはならない。それがたとえ、あなたにとって嫌悪感を持つとしてもである。

時代の道徳観で良くないものを、法律・条例で規制することは、過去の文化遺産に触れる機会を失うこと、そして、人々が創作物を作る際に萎縮を生み、文化の衰退を招く物である。したがって、道徳観にもとづいた法律・条例で図書類を規制してはならない。

「被害が及ぶ『可能性がある』」などと根拠なく規制してはならない。「子どもに読ませると健全な育成上良くない」というのは、大人にとって「気持ち悪いから」ということであり、主体が「大人」である。本来あるべき姿は、心身の成長に沿って段階を踏んで図書類に触れる事、主体となる「子ども」にとって本当に必要な図書類に触れる事こそ、「子ども」が主体となった図書類に対する接し方と考える。

したがって、「緊急避難的措置」以外に法律・条例で規制してはならない。

統計・アンケートをもって、科学的根拠があるから規制していい・いけないとしてはならない。なぜなら、統計の取り方・見方によって、内容を歪めることが可能であるからである。

流通規制は、表現の自由を侵害する行為であり、これを行ってはならない。なぜなら、創作物で生計を立てる行為を阻むからであり、結果的に表現の自由を侵害するためである。

○緊急避難的措置とは何か

緊急避難的措置の定義は何か。それは、下記のような、多くの他人に重大な被害を与えるものである。

- ・テロなどの多くの他人に危害を加えるために使われる、猛毒の作成方法や爆弾の作成方法など。
- ・薬物などで、一度使用した場合に身体に重大な影響を与える、麻薬・覚醒剤などの入手・作成方法など。
- ・実際に被害にあった「児童性虐待成果物(CAM)」と呼ばれる、児童の性虐待を写した画像等。(※)

なお、これらは時代の変遷により変更されることがあるので注意すること。

※創作物では被害者が存在しないため、対象外である。実写画像については、児童・青少年の裸、または、それに準じる画像について、性虐待とならない限り規制してはならない。（育児書、俳優活動の一環を想定）

○自主規制について

自主規制は、世間一般の方にわかりやすいよう、「推奨年齢マーク」「表現マーク」を表示することとする。

○自主規制マークの表示箇所について

図書類（雑誌・文庫・コミック・アニメ・ゲーム等）においては「表紙」の「左下」「右下」「右上」「左上」に表示するものとする。

自主規制のマークについて確認をする場合、「年齢表示があること」「文字がわかること」を持ってよしとすること。大きさ・位置の細かな違いを持ってマークではないとしてはならない。マーク表示の確認について自主規制を判定できる立場がいる場合、これを乱用してはならない。

○ウェブサイトの自主規制について

ウェブサイトの自主規制については、下記の対応を行うこと。

- ・HTML レベルにおいて、meta タグを使った年齢推奨・表現内容の記述を行うこと。
- ・トップページ、および、入口となる index.*のページにおいて、推奨年齢・表現内容のマークを表示すること。

ウェブサイトの自主規制の詳細について解説する。

『HTML レベルにおいて、meta タグを使った年齢推奨・表現内容の記述を行うこと』について。

meta タグを使った推奨年齢・表示内容の記述は、フィルタリングソフト等でサイトの判定ができるようにするためのものである。

現在のフィルタリングソフト・インターネットブロッキングの判定はとても信頼性が低いものであり、ホームページ作者の意図と離れたものとなっているのが現状である。理由は、ホームページの内容を判断する「2010年現在のコンピュータ技術の圧倒的な限界」「判断する人のリソース不足」「判断する人の主観の違い」がある。

そこで、サイトの年齢・内容について、フィルタリングソフト等が meta タグを参照し、不快なサイト・閲覧するには推奨年齢に達していないサイトを本人の意思なく簡単に開かないように、フィルタリングソフト等で判定しやすくする。これは、フィルタリングソフトの誤判定をなくす意味でも大きな前進となる。

なお、このタグを用いて、国家・行政レベルでの利用者に対するブロッキングに用いてはならないものとする。

ISP およびチェック団体は、meta タグとサイトにあるコンテンツの推奨年齢・表現内容が明らかに違っている場合、これを指摘できるものとし、基本的に当事者間の合意をもって解決すること。自主規制の内容を歪めて話を進めてはいけない。問題の対応は ISP にゆだねるが、不当に利用を制限するようなことはあってはならない。

『トップページ、および、入口となる index.*のページにおいて、年齢推奨・表現内容のマークを表示すること』

共通の年齢推奨・表現内容のマークを表示し、サイトの内容が、どのような年齢向けか、見たくない表現はないかを明示できるようにすること。

マークは書籍やビデオ等と同じものにし、一目でわかるようにする。

また、自主規制に関する啓蒙を行うため、マーク付近に『自主規制について』を表示の上、当サイトへのリンク（※）を貼ること。

※自主規制のサイトについては、現時点で未定である。出版界等における自主規制団体にて正式な指針が出た時点で、そちらへのリンクにすること。

○自主規制に対する違反

自主規制の表示基準に沿わないとして指摘された図書類・ウェブサイトは、合理的な理由がある限り、これに応じなければならない。

自主規制団体は、自主規制の指定された基準に従わない図書類・ウェブサイトについて、悪質と考えられるものは、公開できるものとする。

行政、および、団体において、被害者がいないにも関わらず、表現の自由を不当に制限する法律、および、条例の制定を行ってはならない。

自主規制団体は、行政、および、団体において、創作物を通じた人権、および、表現の自由を侵すと思われる、法律、条例の作成、規制、施策の実行を行った場合、これを公表・指摘し、人権侵害・表現の自由を侵したものとして、世界に公表・配信できるものとする。

違反の公開・公表・配信については、合理的な理由なしに行ってはならない。

◎年齢別の自主規制

○注意書き

〔性表現〕

性表現シーン（エロ表現・ポルノ表現）が登場する場合、下記の記述をすること。

相手の合意のない性行為は犯罪となります。

また、妊娠・避妊・性病など、性教育についての知識を身につけてください。

売春は、法律により禁止されています。

〔飲酒・喫煙シーン〕

飲酒・喫煙シーンが登場する場合、下記の記述をすること。

20歳未満へのお酒の販売・提供、及び、20歳未満の青少年がお酒を飲むことは法律により禁止されています。
過度なお酒の摂取は、体に害を及ぼしますので、注意してください。

20歳未満へのたばこの販売・提供、及び、20歳未満の青少年がたばこを吸うことは法律により禁止されています。

たばこを吸うと、体に悪影響を及ぼしますので、注意してください。

〔違法薬物シーン〕

麻薬・覚醒剤などの違法薬物が出るシーンがある場合、下記の記述をすること。

麻薬・覚醒剤といった、違法な薬物の購入・販売・提供、及び、使用は、法律上禁止されています。

麻薬・覚醒剤などの違法薬物は、一回でも使用すると、使用者の体をむしばみ、人として生きられなくなる危険なものです。決して手を出さないでください。

〔差別表現〕

明らかな差別表現がある場合は、注意書きとして、下記の記述をすること。

私たちは人道的観点から下記のような差別をしてはなりません。

人種・宗教・信条・職業・性別・境遇・心理的条件・生活状態による差別行為

幼児・老人・身体障害者・精神障害者等の社会的弱者に対する差別

存在する個人・法人・団体を誹謗中傷すること

上記の注意書きは、1冊に1カ所書くものとする。

文字は極端に小さく書いてはならない。

○表現マーク

性表現、暴力・恐怖表現については、見たくない人への配慮として、マークを付けてください。

〔暴力・恐怖表現マーク〕

13歳・15歳以上向けの、強い暴力・恐怖表現に付けるマーク

〔性表現マーク〕

レベル1－ストーリー展開・恋愛のワンシーンとしての性表現があり、ポルノ表現がない・少ないもの

レベル2－ポルノ表現のあるもの

○年齢別の基準について

※恋愛において「異性」と記述していますが、実際には同性に対する恋愛があることを付記します。

18歳以上推奨（成年コミック表示とは異なる）

満18歳以上が読むことを想定。

実際に他人に害を及ぼさない限り、すべての作品を閲覧できる物とする。

暴力・恐怖表現で、性別・年齢に問わず気分を著しく害すると判断されるもの。

ポルノ表現のうち、変態的なプレイ。

15歳以上推奨

満15歳以上が読むことを想定。

子どもの権利条約を遵守し、一部例外はあるものの、子どもの知る権利を大人とほぼ同じように認める。

すべての暴力・恐怖表現は規制しない。

性の自己決定権を尊重し、過激な変態表現を除き、性表現の規制をしない。

13歳以上推奨

満13歳以上が読むことを想定。

自立に向けた第二次成長期（思春期）のただ中にあり、様々な心理的葛藤が表面化している時期である。その中で多様な創作物に触れられ、また、創作できるよう配慮すること。

なお小学生において、妊娠・出産・性病などのきめ細やかな性教育を求める。これは、創作物における影響を少なくするだけでなく、知らないで性交されてしまわないこと・望まない妊娠・性病予防という子ども自身が体を守るために必要であるからである。

暴力・恐怖表現については、過度に過激なものを除いて規制しない。

ストーリーとして必要な、性器を見せないような性表現は規制しない。

エロ表現が中心となる、ポルノ表現については、ソフトなものは規制しない。自慰行為の表現は過激なものを除いて規制しない。お互いの合意の上での性行為であるものであれば、過激なものや変態表現を除いて規制しない。

10歳以上推奨（全年齢）

満10歳以上が読むことを想定。

第二次成長期に入り始める年齢であり、複雑な心理状態が始まる。

恋愛についても、本格的に性を意識した恋愛が始まる。

国語の時間等で子供が覚えている文字がある進んでいると考えられるため、子どもが様々な知識を得られるように、図書類を提供する。

現状の全年齢対象の作品である。ただし、6歳未満への配慮に欠ける場合がある。

暴力・恐怖表現において、創作物においてショックを受けないようにデフォルメするなど配慮したもの、実写において子ども達がショックを受けないよう配慮した表現であること。リアルなものでなければ、暴力的な表現について規制しない。

性表現において、性交を伴わない恋愛表現であること。（10歳未満と同様）

下着が見える表現は、過度な表現でなければ問題ないものとする。

10歳以上の例外扱いとして、戦争についての悲惨さ・学校や家庭内の暴力など、多少過激ではあっても子どもに知って貰いたいと思う暴力表現、生理・精通を迎える時期であり、性教育的観点のある性表現は10歳以上推奨とする。ただし、教員や保護者が必要であると判断した場合（終戦記念日に戦争の悲惨さを伝える、原爆資料を見せる、小学2年

生で生理を迎えた場合など）、１０歳未満での知識の習得も許されるものとする。

１０歳未満対象（全年齢）

満１０歳未満（満１０歳を含まない）が読むことを想定。

漢字について、まだ読めない部分があるため、難しい漢字にはふりがなを付け、図書類を楽しみ、文字を覚え、文章・絵を楽しむことを第一にすること。

現状の全年齢対象の作品である。ただし、６歳未満への配慮に欠ける場合がある。

性表現については、性交を伴わない恋愛表現であれば規制しない。（ライトキス・手をつなぐ、抱き合うなど許可）

現状の全年齢対象の作品である。ただし、６歳未満への配慮に欠ける場合がある。

暴力・恐怖表現において、創作物においてショックを受けないようにデフォルメするなど配慮したもの、実写において子ども達がショックを受けないよう配慮した表現であること。リアルなものでなければ、暴力的な表現について規制しない。

性表現において、性交を伴わない恋愛表現であること。（１０歳以上と同様）

下着が見える表現は、過度な表現でなければ問題ないものとする。

６歳未満推奨

満６歳未満（満６歳を含まない）が読むことを想定。

子どもの心身の基本的な形成時期であり、心身の育成に必要な情報を提供する。

乳幼児に暴力・恐怖・性表現により、恐怖心・ストレスを与えないように、視聴・閲覧させないようにすること。

子育てをする親子が、安心して見られる作品を提供する。

暴力表現については、できる限りなくすか、やわらかい表現であること。

性表現において、エロ表現はしないこと。ただし、裸の画像等は育児書等で必要なもので規制しない。（※）

※子どもの裸の写真であるが、児童性虐待成果物でない限り、規制対象外とする。

全年齢禁止

図書類の内容が元で、死者が出たり、病院に入院・通院するケースが多数報告されるなど、多数の被害者が出るような内容の図書類を流通させてはならない。

- ・自殺を呼びかける情報の掲載
- ・テロの仕方や呼びかけをする情報の掲載
- ・児童性虐待成果物(Child Abuse Material)

◎カテゴリ別の自主規制の詳細定義

○性表現

１８歳以上推奨

あらゆる性表現（エロ表現・ポルノ表現）について、規制しない。

〔自慰・性交シーンのあるもの・ポルノ表現には『性表現マーク』を付けること。合意のない性交は犯罪である旨、注意書きすること。〕

許可内容

- ・キス－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・抱擁－許可

- 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・下着の露出－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性行為－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・裸体－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性的な物を想起させる表現－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・不倫－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・排泄－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性風俗業－許可（広告可。ただし、法律を遵守すること。）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・売春・買春－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・近親姦・性犯罪等－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・水着・コスチューム－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）

15歳以上推奨

性の自己決定権を尊重し、過激な変態表現を除き、性表現の規制をしない。

〔自慰・性交シーンのあるもの・ポルノ表現には『性表現マーク』を付けること。合意のない性交は犯罪である旨、注意書きすること。〕

許可内容

変態表現を除きポルノ表現を許可する。

- ・キス－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・抱擁－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・下着の露出－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性行為－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・裸体－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性的な物を想起させる表現－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・不倫－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・排泄－許可（糞便は許可しない）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）（扇情的）
- ・性風俗業－許可（広告は許可しない）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・売春・買春－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・近親姦・性犯罪等－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・水着・コスチューム－許可

- 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・不許可とする過激な変態ポルノ表現
 - ・極度に苦痛を与えるＳＭ表現
 - ・糞便を伴う性行為
 - ・精神を壊すような苦痛を与える性交・強姦・露出

１３歳以上推奨

ストーリーとして必要な、性器を見せないような性表現は規制しない。

エロ表現が中心となる、ポルノ表現について、過激でないものは規制しない。

自慰行為の表現は過激なものを除いて規制しない。

お互いの合意の上での性交表現は、過激なものや変態表現を除いて規制しない。

〔自慰・性交シーンのあるもの・ポルノ表現には『性表現マーク』を付けること。合意のない性交は犯罪である旨、注意書きすること。〕

許可内容

部分的にポルノ表現を許可する。

- ・キス－許可（ライトキス・ディープキスとも許可）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・抱擁－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・下着の露出－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性行為一部分許可（エロス表現は許可。ポルノ表現の場合、相手の合意のあるものを許可）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的、または、扇情的）
- ・裸体－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・性的な物を想起させる表現－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・不倫－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・排泄－許可（糞便は許可しない）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）（扇情的）
- ・性風俗業－許可（広告は許可しない）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的・扇情的）
- ・売春・買春一部分許可（エロス表現は許可。ポルノ表現は不許可）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・近親姦・性犯罪等一部分許可（エロス表現は許可。ポルノ表現は不許可）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・水着・コスチューム－許可
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）

１０歳以上推奨（全年齢）

性表現において、性交を伴わない恋愛表現であること。

下着が見える表現は、過度な表現でなければ問題ないものとする。

性教育的観点の作品であれば、１３歳以上推奨のレベルの規制とする。ただし、これを乱用してはならない。

〔自慰・性交シーンのあるもの・ポルノ表現には『性表現マーク』を付けること。合意のない性交は犯罪である旨、注意書きすること。〕

許可内容

原則、ポルノ表現にならないこと。

ただし、性教育的作品については、例外としてすべて許可する。その際に、子どもに対して、ストレスを与えないよう

な配慮を要する。

- ・キス－許可（ライトキスであること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・抱擁－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・下着の露出－部分許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・性行為－不許可
- ・裸体－部分許可（デフォルメされたものであること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）
- ・性的な物を想起させる表現－部分許可（明確な妄想シーンを許可）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・不倫－不許可
- ・排泄－部分許可（性行為としては許可しない）
可－（間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）
- ・性風俗業－不許可（建物が見える程度であれば許可する）
可－（間接的）（偶発的）（背景的）
- ・売春・買春－不許可
- ・近親姦・性犯罪等－不許可
- ・水着・コスチューム－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

10歳未満対象（全年齢）

性表現において、性交を伴わない恋愛表現であること。

下着が見える表現は、過度な表現でなければ問題ないものとする。

性教育の学術書については、性器の解説としての画像・文章は規制しない。

許可内容

ポルノ表現にならないこと。

- ・キス－許可（ライトキスであること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）
- ・抱擁－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）
- ・下着の露出－部分許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）
- ・性行為－不許可
- ・裸体－部分許可（デフォルメされたものであること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・性的な物を想起させる表現－一部許可（明確な妄想シーンを許可）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・不倫－不許可
- ・排泄－部分許可（性行為としては許可しない）
可－（間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）
- ・性風俗業－不許可
- ・売春・買春－不許可
- ・近親姦・性犯罪等－不許可
- ・水着・コスチューム－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

6歳未満推奨

ポルノ表現・エロ表現はしないこと。

許可内容

ポルノ表現・エロ表現にならないこと。

育児・身体的なコミュニケーションを描いたものを

- ・キス－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・抱擁－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・下着の露出－部分許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（偶発的）（背景的）
- ・性行為－不許可
- ・裸体－部分許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）
- ・性的な物を想起させる表現－不許可
- ・不倫－不許可
- ・排泄－一部許可（育児教育の図書類で必要）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・性風俗業－不許可
- ・売春・買春－不許可
- ・近親姦・性犯罪等－不許可
- ・水着・コスチューム－不許可

○暴力表現

15歳以上推奨

すべての暴力・恐怖表現を規制しない。

[15歳以上向けの暴力・恐怖表現は、『暴力・恐怖表現マーク』を付けること。]

[明らかな差別シーンのあるものは、注意書きすること。]

許可内容

- ・出血描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・身体分離・欠損描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・死体描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・殺傷－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・恐怖－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・戦争体験－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・対戦格闘・ケンカ描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・幽霊・怪談－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・犯罪描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・麻薬等薬物－許可（ただし、違法薬物に関する注意書きをすること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・虐待－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）

- ・飲酒及び喫煙－許可（ただし、飲酒・喫煙に関する注意書きをすること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・ギャンブル－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・自殺・自傷－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・人身売買等－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・言語・思想差別－許可（注意書きをすること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

13歳以上推奨

暴力・恐怖表現は、過激すぎるものを除いて規制しない。

過激すぎるリアルな暴力・恐怖表現を除いて規制しない。

例)

生き物を生きたまま皮をはいたり、内臓が飛び出たりした状態で、限界を超えた苦痛の表現を継続的にリアルに表現したもの

[13歳以上向けの暴力・恐怖表現は、『暴力・恐怖表現マーク』を付けること。]

[明らかな差別シーンのあるものは、注意書きすること。]

許可内容

過度に過激な暴力・恐怖表現を除いて規制しない。

- ・出血描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・身体分離・欠損描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・死体描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・殺傷－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・恐怖－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・戦争体験－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・対戦格闘・ケンカ描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・幽霊・怪談－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・犯罪描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・麻薬等薬物－許可（ただし、違法薬物に関する注意書きをすること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・虐待－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的・扇情的）
- ・飲酒及び喫煙－許可（ただし、飲酒・喫煙に関する注意書きをすること）
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・ギャンブル－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・自殺・自傷－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・人身売買等－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

・言語・思想差別一許可（注意書きをすること）

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

10歳以上推奨（全年齢）

暴力・恐怖表現において、創作物においてショックを受けないようにデフォルメするなど配慮したもの、実写において子ども達がショックを受けないよう配慮した表現であること。リアルなものでなければ、暴力的な表現について規制しない。

6歳以上の子どもができる限りショックを受けないよう、子どもに配慮した表現であること。

創作物は、リアルではない、デフォルメした表現であること。

リアルな暴力・恐怖表現を行ってはならない。

ただし、過度な規制をしてはならない。

妖怪、怪談について、年齢相応の子どもに配慮されたものであれば、規制しないこと。

10歳以上の文字を覚え、ある程度考える年齢になった時点で、暴力表現等で現実の身近で問題になっているものや、後世に伝えるべきものについてはこれを許可すべきである。（例えば、学校・家庭内の暴力問題、戦争問題）

許可内容

許可するものについて、実写における生々しい光景やリアルな描写で子どもが極めて強いショックを受けるものは不許可。デフォルメした物については問題ない。子どもが極めて強いショックを受けないよう、配慮すること。

・出血描写一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・身体の分離・欠損描写一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・死体描写一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・殺傷一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・恐怖一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・戦争体験一許可

実際にあったことを後生に伝えるために必要なため、事前に勉強等をした上で、実際の戦争写真等を閲覧することは可。

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

・対戦格闘・ケンカ描写一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・幽霊・怪談一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

・犯罪描写一許可

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・麻薬等薬物一不許可（教育的内容であれば許可する）

・虐待一部分許可（問題提起の内容について許可する）

可一（直接的・間接的）（否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

・飲酒及び喫煙一許可（ただし、飲酒・喫煙に関する注意書きをすること）

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）

・ギャンブル一不許可

・自殺・自傷一許可

実際に小学生の自殺がある以上、創作物として提起することに違和感はない

可一（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）

・人身売買一不許可

・言語・思想差別一不許可

10歳未満対象（全年齢）

暴力・恐怖表現において、創作物においてショックを受けないようにデフォルメするなど配慮したもの、実写において

子ども達がショックを受けないよう配慮した表現であること。リアルなものでなければ、暴力的な表現について規制しない。

6歳以上の子どもができる限りショックを受けないよう、子どもに配慮した表現であること。

創作物は、リアルではない、デフォルメした表現であること。

リアルな暴力・恐怖表現を行ってはならない。

ただし、過度な規制をしてはならない。

妖怪、怪談について、年齢相応の子どもに配慮されたものであれば、規制しないこと。

許可内容

許可するものについて、実写における生々しい光景やリアルな描写で子どもが極めて強いショックを受けるものは不許可。デフォルメした物については問題ない。子どもが極めて強いショックを受けないよう、配慮すること。

- ・出血描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・身体の分離・欠損描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・死体描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・殺傷－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・恐怖－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）
- ・戦争体験－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・対戦格闘・ケンカ描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・幽霊・怪談－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感）
- ・犯罪描写－許可
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（反社会的）
- ・麻薬等薬物－不許可（教育的内容であれば許可する）
- ・虐待一部分許可（問題提起の内容について許可する）
可－（直接的・間接的）（否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・飲酒及び喫煙－許可（ただし、飲酒・喫煙に関する注意書きをすること）
可－（間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（背景的）
- ・ギャンブル－不許可
- ・自殺・自傷－許可
実際に小学生の自殺がある以上、創作物として提起することに違和感はない
可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）（嫌悪感・反社会的）
- ・人身売買等－不許可
- ・言語・思想差別－不許可

6歳未満推奨

暴力表現については、できる限りなくすか、やわらかい表現であること。

6歳未満の子どもに見せられない、デフォルメしていないリアルな暴力・恐怖表現はしないこと。

また、デフォルメされていても、6歳未満の子どもが怖いと思う強い表現は行わないこと。

許可内容

暴力・恐怖表現は、不許可とする。

- ・出血描写－不許可（ただし、必要転んだときなどの傷の表現としての出血は許可）
- ・身体の分離・欠損描写－不許可
- ・死体描写－不許可
- ・殺傷－不許可
- ・恐怖－不許可

- ・戦争体験－不許可
- ・対戦格闘・ケンカ描写－部分許可（子ども同士のケンカなどの表現として6歳未満の子ども向けにデフォルメしたものは許可）
 - 可－（直接的・間接的）（肯定的・否定的）（必然的・偶発的）（主題的・背景的）
- ・幽霊・怪談－不許可
- ・犯罪描写－不許可
- ・麻薬等薬物－不許可
- ・虐待－不許可
- ・飲酒及び喫煙－不許可
- ・ギャンブル－不許可
- ・自殺・自傷－不許可
- ・人身売買等－不許可
- ・言語・思想差別－不許可

インターネットにおける自主規制

○概要

インターネットのウェブサイトにおける自主規制を記載します。

自主規制は、かならず3つセットで行ってください。

- ・トップページにおける年齢マーク・表現マーク
- ・トップページにおける、自主規制ページへのリンク
- ・meta タグの記載

自主規制ページへのリンクは、自主規制に関する啓発を目的としています。

（たとえばとしては悪いですが、GPL の GPL に関するドキュメントに近いものです）

◎ホームページに表示するマークについて

下記のような、年齢規定のマークと年齢規定のデフォルトに反する性・暴力表現がある場合、それに関するマークを「index.*」に記載してください。

○年齢規定マーク

- ・18歳以上推奨
- ・15歳以上推奨
- ・13歳以上推奨
- ・10歳以上推奨
- ・10歳未満推奨
- ・6歳未満推奨
- ・全年齢対象

※全年齢対象は、事実上10歳以上推奨のサイトとして扱われます。

○表現マーク

- ・暴力・恐怖表現マーク
- ・性表現マーク
- ・ポルノ表現マーク

年齢規定マークの下に、かならず自主規制サイトページへのリンクを貼ってください。

HTML の例)

```
<br><a href="http://www22.atwiki.jp/self-regulation/">自主規制の指針</a>
```

※現在の自主規制ページへのリンクは「<http://www22.atwiki.jp/self-regulation/>」です。日本における正式な自主規制サイトが決まった時点で変更されます。

◎インターネットのホームページに記述する、自主規制のための meta タグの定義。

○meta タグの概要

これは、インターネットフィルタリングの判定を確実にするための自主規制のために定義します。

個人のサイトを作成する際に、head タグの間に記述してください。

```
<meta http-equiv="pics-label" content="(pics-1.1
  "http://www22.atwiki.jp/self-regulation/"
  I comment "Japanease Self-Regulation Online"
  gen true
  for "対象のページアドレス"
  r (age o13 s bg1 v 0))">
```

※日本における正式な自主規制サイトができた時点で「<http://www22.atwiki.jp/self-regulation/>」等を変更すること

○meta タグに記載する内容

推奨年齢(必須)

カテゴリ = "age"

値 説明

all 全年齢対象

u5 5 歳以下推奨

u9 9 歳以下推奨

o10 10 歳以上推奨

o12 12 歳以上推奨

o15 15 歳以上推奨

o18 18 歳以上推奨

※○歳以下推奨は、6 歳までとする。これは、発達段階に必要な絵本がターゲットである

性表現(sex)

カテゴリ = "s"

値 説明

<性別指定(必須)>

g[レベル] 主に女性の性表現

b[レベル] 主に男性の性表現

bg[レベル] 男女を含む性表現(レベル 1 以上デフォルト)

<レベル>

0 性表現なし (all, u5, o10 デフォルト)

・基本的に性表現がなく、恋愛が絡んでも性的な関係を想起しないもの

- 1 下着が見える程度 (o13 デフォルト)
 - ・浅めの恋愛表現までを想定
 - 2 セックスシーン等を連想する程度 (o15 デフォルト)
 - ・恋愛表現を追求したものを想定
 - ・実際の性交シーンがないこと
 - 3 性表現として性交シーンが出る
 - ・恋愛表現を深く追求したものを想定
 - ・実際の性交シーンまで描くもの
 - 4 ポルノ表現としてセックスシーンが出る (o18 デフォルト)
 - ・ポルノ表現を描くもの
 - ・激しいポルノ表現はレベル5
 - 5 すべての性表現を許可
- ※レベルは必ず後

<レベルの詳細>

- 0 性表現なし (all, u5, o10 デフォルト)
 - ・基本的に性表現がなく、恋愛が絡んでも性的な関係を想起しないもの
(all)(u5)(u9)(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・ライトキス・抱擁・排泄（性的なものでないこと）・水着（性的なものでないこと）
 - ・コスチューム（性的なものでないこと）
 - 不可
 - ・ディープキス・下着の露出・性行為・裸体・性的な物を想起させる表現・不倫
 - ・性を意識する排泄・性風俗業・売春・買春・近親姦・性犯罪等
- 1 下着が見える程度 (o13 デフォルト)
 - ・浅めの恋愛表現までを想定
(all)(u5)(u9)(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・ライトキス・抱擁・下着の露出・性器を見せず過激すぎない裸体
 - ・排泄（性的なものでないこと）
 - ・水着（性的なものでないこと）・コスチューム（性的なものでないこと）
 - 不可
 - ・ディープキス・性行為・過激な裸体・性的な物を想起させる表現・不倫
 - ・性を意識する排泄・性風俗業・売春・買春・近親姦・性犯罪等
- 2 セックスシーン等を連想する程度 (o15 デフォルト)
 - ・恋愛表現を追求したものを想定
 - ・実際の性交シーンがないこと
(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・キス・抱擁・下着の露出・裸体・性的な物を想起させる表現
 - ・排泄（性的なものでないこと）
 - ・水着・コスチューム
 - 不可
 - ・実際の性行為シーン・不倫
 - ・性を意識する排泄・性風俗業・売春・買春・近親姦・性犯罪等
- 3 性表現として性交シーンが出る
 - ・恋愛表現を深く追求したものを想定
 - ・実際の性交シーンまで描くもの
(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・キス・抱擁・下着の露出・裸体
 - ・性的な物を想起させる表現・実際の性行為シーン（ポルノ表現（扇情的）でないこと）
 - ・不倫・排泄（ポルノ的なものでないこと）・性風俗業・売春・買春・近親姦・性犯罪等

- ・水着・コスチューム
- 不可
- ・ポルノ（扇情的な）表現としての性行為シーン
- 4 ポルノ表現としてセックスシーンが出る (o18 デフォルト)
 - ・ポルノ表現を描くもの
 - ・激しいポルノ表現はレベル 5
 (o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・キス・抱擁・下着の露出・裸体
 - ・性的な物を想起させる表現・実際の性行為シーン
 - ・不倫・排泄（ポルノ的なものでないこと）・性風俗業・売春・買春・近親姦・性犯罪等
 - ・水着・コスチューム
 - 不可
 - ・極度に苦痛を与える S M 表現
 - ・露出・痴漢などの変態行為
 - ・獣姦や異生物姦などの性表現
 - ・糞便を伴う性行為
 - ・精神を壊すような苦痛を与える性交・強姦・露出
- 5 すべての性表現を許可
 - 不可ーなし

暴力表現(violence)

カテゴリ = "v"

<種類(省略可能)>

- f ケンカ(fight)
- h ホラー(horror)
- b 戦場(battlefield)
- c 犯罪(crime)

<レベル>

- 0 暴力表現なし (u5, u9 デフォルト)
- 1 戦隊物、デフォルメしたけんか・戦闘シーンがあるもの (all, o10, o13 デフォルト)
- 2 リアルなケンカ表現・血が出るなどの表現がある (o15, o18 デフォルト)
- 3 2に加え、ホラー表現・自殺や自傷などのグロテスクな表現がある
- 4 <予約>
- 5 すべての暴力表現を許可
 - ・他人、および、自分の心身に傷害を与える表現を加えたもの

※レベルは必ず後

<レベルの詳細>

- 0 暴力表現なし (u5, u9 デフォルト)
 - (all)(u5)(u9)(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・転んだとき等の出血描写・デフォルメした対戦格闘やケンカ描写
 - 不可
 - ・大量の出血描写・身体の分離や欠損描写・死体描写・殺傷・恐怖・戦争体験
 - ・リアルな対戦格闘やケンカ描写・幽霊・怪談・犯罪描写・麻薬等薬物
 - ・虐待・飲酒及び喫煙・ギャンブル・自殺や自傷・人身売買等・言語や思想差別
- 1 戦隊物、デフォルメしたけんか・戦闘シーンがあるもの (all, o10, o13 デフォルト)
 - (all)(u9)(o10)(o13)(o15)(o18)
 - 可
 - ・出血描写・身体の分離や欠損描写・デフォルメした死体描写・デフォルメした殺傷
 - ・デフォルメした恐怖・デフォルメした戦争体験
 - ・デフォルメした対戦格闘やケンカ描写・デフォルメした幽霊・デフォルメした怪談

- ・デフォルメした犯罪描写
- ・肯定しない背景的な飲酒及び喫煙・肯定しない背景的なギャンブル
- ・肯定しない背景的でデフォルメした自殺や自傷
- ・肯定しない背景的でデフォルメした人身売買等
- ・肯定しない背景的な言語や思想差別

不可

- ・リアルな死体描写・リアルな殺傷・リアルな恐怖・リアルな戦争体験
- ・リアルな対戦格闘やケンカ描写・リアルな幽霊・リアルな怪談・リアルな犯罪描写
- ・麻薬等薬物・虐待
- ・肯定的な飲酒及び喫煙・肯定的なギャンブル・リアルな自殺や自傷
- ・リアルな人身売買等・肯定的な言語や思想差別

2 リアルなケンカ表現・血が出るなどの表現がある (o15, o18 デフォルト)

(o10)(o13)(o15)(o18)

可

- ・出血描写・身体の分離や欠損描写・デフォルメした死体描写・デフォルメした殺傷
- ・デフォルメした恐怖・デフォルメした戦争体験
- ・対戦格闘やケンカ描写・デフォルメした幽霊・デフォルメした怪談
- ・犯罪描写・虐待
- ・肯定しない背景的な飲酒及び喫煙・肯定しない背景的なギャンブル
- ・肯定しない背景的な自殺や自傷
- ・肯定しない背景的な人身売買等
- ・肯定しない背景的な言語や思想差別

不可

- ・リアルな死体描写・リアルな殺傷・リアルな恐怖・リアルな戦争体験
- ・リアルな幽霊・リアルな怪談
- ・麻薬等薬物
- ・肯定的な飲酒及び喫煙・肯定的なギャンブル・肯定的な自殺や自傷
- ・肯定的な人身売買等・肯定的な言語や思想差別

3 2に加え、ホラー表現・自殺や自傷などのグロテスクな表現がある

(o10)(o13)(o15)(o18)

可

- ・出血描写・身体の分離や欠損描写・死体描写・殺傷
- ・恐怖・戦争体験
- ・対戦格闘やケンカ描写・幽霊・怪談
- ・犯罪描写・虐待
- ・肯定しない背景的な飲酒及び喫煙・肯定しない背景的なギャンブル
- ・肯定しない背景的な自殺や自傷
- ・肯定しない背景的な人身売買等
- ・肯定しない背景的な言語や思想差別

不可

- ・麻薬等薬物
- ・肯定的な飲酒及び喫煙・肯定的なギャンブル・肯定的な自殺や自傷
- ・肯定的な人身売買等・肯定的な言語や思想差別

4 <予約>

5 すべての暴力表現を許可

- ・他人、および、自分の心身に傷害を与える表現を加えたもの

(o10)(o13)(o15)(o18)

可

- ・出血描写・身体の分離や欠損描写・死体描写・殺傷
- ・恐怖・戦争体験
- ・対戦格闘やケンカ描写・幽霊・怪談
- ・犯罪描写・虐待
- ・飲酒及び喫煙・ギャンブル
- ・自殺や自傷

- ・ 人身売買等
- ・ 言語や思想差別
- ・ 麻薬等薬物

教育・相談(education and clinic)

カテゴリ = "e"

se 性教育 (sex education)

ne ネットリテラシー教育 (net literacy education)

sc 性に関する相談室 (sex clinic)

mc 心に関する相談室(自殺・いじめ・鬱などの心の病等) (mind clinic)

nc ネットに関する相談室 (net clinic)

※複数指定することはできない

コミュニケーション(communication)

カテゴリ = "c"

all 全年齢対象コミュニケーションサイト (all デフォルト)

a 大人を対象としたサイト (adult) (o18 デフォルト)

es 小学生を対象としたサイト (elementary school student) (o10 デフォルト)

js 中学生を対象としたサイト (junior high school student) (o12 デフォルト)

hs 高校生を対象としたサイト (high school student) (o15 デフォルト)

c 青少年を対象としたサイト (child)

※複数指定することはできない

○フィルタリングソフトについての備考

フィルタリング目的等でデータベース等に保存する場合、推奨年齢は数値として保存すること。

all の値は 0 とする。

フィルタリングソフトを使用する場合、年齢を数値として入れ、そこから計算することを推奨する。これにより、自動的に年齢に適したフィルタリング適用し、設定変更なく閲覧することを可能にする。

データベースの場合、下記のようなフォーマットを推奨する

URL 等, カテゴリ, サブカテゴリ, 値

※サブカテゴリは、性・暴力表現で使用する

上記に、年月日等を付けて、保存する

◎売り場の区分陳列

○売り場の区分陳列について

売り場の区分陳列の際は、下記のような年齢区分の表示を行うことを推奨する。

- ・ 18 歳以上強い性描写（ポルノ表現）あり
- ・ 15 歳以上強い性描写（ポルノ表現）あり
- ・ 13 歳以上強い性描写（ポルノ表現）あり
- ・ 18 歳以上向け
- ・ 15 歳以上向け
- ・ 13 歳以上向け
- ・ 全ての年齢向け（あるいは、10 歳以上向け・10 歳未満向け）
- ・ 6 さいよりしたのおこさま

表示方法は、下記のようなものとする。

売り場で区分陳列を行う場合、「１８歳以上向け」「１５歳以上向け」「１３歳以上向け」「全年齢」「６さいよりしたのおこさま」などをわかりやすく表示することを推奨する。

表示方法は、作家名等と同じような「立て札」、棚への「張り紙」などである。

棚の分け方は、「１８歳以上向け」「１３歳以上向け」「全年齢」「６歳未満」と分けることを推奨する。

性表現のあるもの、暴力表現のあるものについて、分けるとより良い。ただし、行政、および、団体はこれを販売店に強制・指導・申請・要望してはならない。

行政、および、団体が年齢別の区分陳列を求める場合、区分陳列のための標識・立て札は、行政・団体の負担の元用意すること。それぞれの店の実態に合った表示方法であること。無理な表示方法を販売店に押しつけないこと。

個人の要望の場合は、検討とし、販売店の判断、および、販売店が加盟する団体の指示に従う。

◎自主規制の指針サイトについて

自主規制の指針サイトとは、今閲覧しているこのサイトを指します。

※日本における正式な自主規制サイトが決まった時点で変更されます。

○広報・啓発

自主規制の際に、自分達の活動を理解してもらうため、下記のようなあらゆる手法を用いて解説することを望む。

- ・文章

- ◎画像による解説付きの文章

- ◎マンガ

- ・実写の動画解説

- ・アニメーション

特に◎については実現していただきたい。

マンガによる解説は、学生のみなさんへの啓蒙のために必要と考えている。

○各方面への協力をお願い

フィルタリングについては、下記のような団体等への働きかけが必要と考える。

- ・総務省、警察庁、経済産業省、厚生労働省、文部科学省、内閣府

- ・ウイルス対策ソフト会社

- ・Google・Yahooなどの検索エンジン会社

- ・携帯電話会社

- ・フィルタリング事業者

○インターネットによる海外からのアクセスについて

国内の１８歳以上推奨・性表現・暴力表現が、海外の基準と合致しないと判明した場合、フィルタリング会社・海外のインターネットサービスプロバイダ等と連携し、metaタグによる判定の元、海外から日本へのアクセスに対するブロッキング等の措置はやむ終えないものとする。

ただし、多くの情報・創作物は広く公開し、閲覧できることが原則であるため、議論の上、公開、または、閲覧を希望する人がいる場合にフィルタリングソフトの閲覧制限解除による公開を強く望む。

